

木暮あかりのAKAGIFT放送後記

3月放送分(2018/3/2~2018/3/9)

3月「長谷川農園」放送後記

赤城エリアの美味しいものや、それを生み出す人、自分たちが住む“赤城山”にまつわるエピソードを取材する番組、「木暮あかりのAKAGIFT」。

3月前半の放送は、前橋市上細井町にある、長谷川農園の「野菜・野菜の加工品」にまつわるお話でした。最初はキュウリ専業農家でしたが、数年前からキュウリ以外の食材も作りはじめ、加工品などの生産も盛んになったそうです。

地域の小学校給食への食材提供や、野菜ソムリエとしての活動も多いそうですが、どんなお話が伺えたのでしょうか？



3/2 (金)

1週目出演者：長谷川和俊さん

今回はハウス見学をしながらお話をきくことが出来ました。

2月の寒い時期の取材にも関わらず、既にキュウリが育っていることや、いろんな形のキュウリに目を輝かせる木暮アナウンサー。

星型やハート形の変ったキュウリを作り始めたのは、「食べることは楽しくなくっちゃ!」という考えのもと、生産を始めたそうです。キュウリのほかにもひとみ五寸というにんじんを使ってジュースなどの加工品も販売しているとのこと。

そして、長谷川農園の11代目の和俊さんはこの赤城エリアで育ったため、赤城山は小さい頃から親しんできました。

「見るたびに元気がもらえる」「季節感を感じることができ、前橋市は赤城山が見守っている素晴らしい場所だ」という思いがあるそうですよ。



3/9 (金)

2週目出演者：長谷川恵理子さん

恵理子さんは、野菜ソムリエ上級プロとして、資格を活かした地域貢献をいらっしゃいます。

例えば、小学生の収穫体験・ハウス見学・給食への食材提供を通して、子ども達の食育を進めるなどです。タマネギの丸かじりする子どもの微笑ましいエピソードを教えてくださいました。

また、今回もまえばしマジョーラの活動についてもお話を伺えました。

それぞれの生産者で作っているものは異なりますが、「人が食べるものをつくる」という共通点をきっかけに交流をし、刺激をもらっているそうです。

もちろん、赤城山への思いも聞いてみましたよ。前橋市で育ったということで、とても身近な存在であるということ。特に、「見る場所によっては赤城山の見え方・思いの捕らえ方が違ってそれぞれの赤城山がある」という一言が印象的でした。

取り上げた商品「野菜や野菜を使った加工品」

商品情報について詳しくはぐんラボ!をチェック!

<https://www.gunlabo.net/shop/shop.shtml?s=5757>

長谷川農園

〒371-0813

群馬県前橋市上細井町565-11

TEL・FAX 027-289-4610

